

公務員のホントのところ②～基礎研修編～



←研修中の様子です。座学の講義は久しぶりという人も多かったと思いますが、皆さんしっかりと聞いてくれました。



↑グループ討議中の一場面。各グループに分かれて討議をしている中、人事係もサポートに入らせて頂きました。あと、こんな広い場所で研修しましたよ！（分かりづらいかも知れませんが、最大100人収容できます。）

11月14日～11月17日に1年目研修を実施しました！

11月14日(月)～11月17日(木)

にかけて厚生労働事務官としての基礎的な知識や考え方を身に付けてもらう労働行政基礎研修を開催いたしました。

労働行政職員は労働基準行政・職業安定行政・雇用環境均等行政・人材開発行政と活躍のフィールドが多岐に渡るため、今所属している部署での仕事以外の知識や考え方は今後の長い職業人生において不可欠なものとなっていきます。労働局では毎年同研修を実施しており、今年度は神戸地方合同庁舎にて労働大学及び厚生労働省とオンラインでつなぎ、合計28名の職員が研修を受講しました。

労働局では様々な研修がある中で今回は、同研修について研修準備を行った人事係の感想を交えてご紹介させていただきます！

今回の基礎研修を実際聞いてみてどうだった？

A 人事係に来て初めて基礎研修の準備をしましたが、自分が受講するのが何年も前なのですごい懐かしい気分になりました。

B 私が受けたのは10年以上前だけど今回の基礎研修がオンラインで実施されたのは驚いた。

C Bさんが受けたのと私は同じ形式だと思いましたが、私達が受けた時は埼玉県朝霞市での研修施設に泊りで行いましたよね。

A 懐かしいですね。泊りで1週間ぐらいだったので行く前は長いなーと思っていただけ、行ってみるとあつという間だし全国の同期が集まって他の労働局の話も聞けたりして楽しかったのを覚えています！もちろんグループディスカッションの準備を含めて勉強もちゃんとしましたよ(笑)

B 今は新型コロナウィルスの影響で基礎研修は泊りで同期と集まらないのは少し残念だね。

C そうですね。ただ私は昨年度から人事係にいて昨年の基礎研修も見てますが、オンラインでも今までと同じく労働行政職員としての基礎を学べるように学校側は工夫してくれていると感じました。カリキュラムを見れば私が昔学んだ内容とほぼ似ていると思いますし、研修施設で行ったグループディスカッションも入ってますね。



↑手前のグループも討議が白熱しています。(顔は隠しています。)

A 学べることは変わらずとも時代とともに方法はブラッシュアップしてるところですね。

B ブラッシュアップ！良いことですね！

C 確かに(笑)あとカリキュラムで「クレーム対応」「メンタルヘルス」について隣の人とペアで行うワーク形式があるのも面白かった。

A 「若手職員に聞く」というのも今厚生労働省にいる若手職員が業務内容とか雰囲気とか話してくれていて参考になりました。

B 厚生労働省の人達って普段やりとりはするけどどんな職場かは局にいると分からないから参考になるね。

C 興味ある人は異動希望出してみてほしいかも！あとこの記事見てるこれから兵庫労働局に入る予定の人も厚生労働省に異動希望出せば働けるかもだから入ってからの道は大きく広がっているよ！

A 今は採用されたらずっと兵庫県での勤務だけど、これから自分の希望も変わるかもしれないから労働局での勤務って可能性が広がりますね！

兵庫労働局独自の研修カリキュラムはどうだった？

B 今回の研修は労働大学校がカリキュラムを作ったけど、終了時間が早かったから兵庫労働局独自の研修も実施したよね。

C グループディスカッションですね。座学ばかりだとしんどいからアウトプットする機会も毎日設けました。

A 約6人を1グループで、毎回討議テーマとメンバーも変えて実施したから同期の人数が多くてまだちょっと話ししていない人も交流できてよかったと思います。

B 部屋の外まで話し声とか笑い声が聞こえてきたから驚いた(笑)やっぱり自分と同じ業務の人がいたりしたらあるある話で盛り上がるんだろうね。

C 働き始めて約半年～1年で仕事には慣れた頃かと思うけど、仕事の進め方などで少し悩んでいる人もいたと思うから、今回の機会でも少しも悩みや不安を取り除いたら嬉しいですね。

A 兵庫労働局は相談しやすい環境だけど、同期だからこそ話せる些細なこともありますもんね。

B 我々人事係も今回のような場を少しでも多く提供できるように頑張ろう！

C そうですね！働きやすい環境づくりに頑張っていきます！